



注目ポイント

✓先週、米株式市場でハイテク株が買われ、11日にはナスダック総合株価指数が過去最高値を更新した。日本の株式市場でも半導体関連株を中心に買いが入り、12日には日経平均株価が一時心理的節目の4万円を上回る場面もあった。一方、外為市場では、米ブルームバーグ通信などの報道を受けて、日銀が翌週の会合で追加利上げを見送るとの観測が強まり、円安ドル高が進展。週末13日には一時1ドル=153円80銭まで円安ドル高が進む場面もあった。

✓今週は日米で金融政策を決める重要な会合が開催される。市場では、FRBの0.25%利下げをほぼ織り込む一方で、日銀が利上げを見送るとの見方が強まっている。そのため、もし市場予想に反して日銀が追加利上げを決めれば、国内金利に上昇圧力がかかるとともに、ドル円レートが円高ドル安方向に振れる可能性があり、注意を要しよう。(北田英治)

①マーケット動向(実績データ) 2024年12月9日 ~ 2024年12月13日

市場・指標			12月9日 ~ 12月13日		12月13日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
株式	日本	日経平均(円)	40,092	38,973	39,470	+379	+1.0%	
	米国	NYダウ(ドル)	44,729	43,790	43,828	-814	-1.8%	
	ドイツ	DAX(ポイント)	20,523	20,278	20,406	+21	+0.1%	

市場・指標			12月9日 ~ 12月13日		12月13日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			最高	最低	終値	変化幅(%)	
金利 (国債)	日本	10年(%)	1.075	1.030	1.040	-0.005	
	米国	10年(%)	4.40	4.13	4.40	+0.24	
	ドイツ	10年(%)	2.26	2.09	2.26	+0.15	

市場・指標			12月9日 ~ 12月13日		12月13日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	変化幅(円)	
為替	米ドル(円)		153.80	149.69	153.65	+3.65	
	ユーロ(円)		161.56	157.87	161.37	+2.82	
	豪ドル(円)		98.07	95.62	97.77	+1.90	

市場・指標			12月9日 ~ 12月13日		12月13日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
その他	日本	東証リート(ポイント)	1,641	1,624	1,635	-7	-0.4%	
	米国	NY原油(ドル)	71.42	67.08	71.29	+4.1	+6.1%	
		NY金(ドル)	2,761	2,650	2,676	+16	+0.6%	

(注) Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成。休日・休場の場合は、その前営業日の値を使用して作成してあります。

②マーケット動向(振り返り&予想)

2024年12月16日 ~ 2024年12月20日

株式

日経平均株価は再び4万円を試す展開か

日経平均株価
【予想レンジ】 39,000 円 ~ 40,200 円

- 先週の日経平均は上昇。10日には中国景気の先行き不安がやや和らいだことに伴い、低リスク通貨とされる円が売られて円安となった流れを受けて、トヨタやホンダなど自動車株が買われた。また12日には、前日の米ハイテク株高を追い風に、東京市場でも半導体関連株を中心に買いが入った。日経平均株価は取引時間中に約2か月ぶりに心理的節目の4万円を上回る場面もあった。
- 今週の日経平均は再び4万円を試す展開か。今週は日米の中央銀行が金融政策を決める重要な会合を開催する。FRBが市場の予想通りに追加利下げに動けば米国株が上昇し、日本株にも買いが波及しよう。一方、日銀は政策金利を据え置くとの見方が優勢だけに、予想に反して利上げをすれば、日本株の下押し圧力となる。



※Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成

金利
(国債)

長期金利は強含む可能性も

10年国債利回り
【予想レンジ】 1.000 % ~ 1.100 %

- 先週の長期金利は小幅に低下。10日には中国の景気持ち直し期待から投資家が運用リスクを取りやすくなるとの見方が広がり、安全資産とされる債券が売られて長期金利が上昇した。しかし週後半はロイター通信が「日銀は来週金利を据え置く方向に傾いている」と報じたことなどを受けて、日銀の利上げ見送り観測が強まり、債券が買われて長期金利が低下した。
- 今週の長期金利は強含む可能性に要注意。日銀は18日と19日の2日間にわたって金融政策決定会合を開催する。市場では日銀が追加利上げを見送るとの見方が強まっているだけに、予想に反して日銀が追加利上げを決定すれば、長期金利に上昇圧力がかかろう。



※Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成

為替
(米ドル)

予想外の円高ドル安に要注意

米ドル/円
【予想レンジ】 150.00 円 ~ 156.00 円

- 先週のドル円は大幅な円安ドル高が進展。9日には中国で積極的な景気刺激策が実施されるとの見方から、同国景気の先行き不安が後退し、低リスク通貨とされる円を売ってドルを買う取引が広がった。また11日には、米ブルームバーグ通信による「日銀は追加利上げを急ぐ状況にないと認識している」との報道を受けて、円売りドル買いが優勢となった。週末13日には米長期金利の上昇を受けて、一時1ドル=153円80銭まで円安ドル高が進む場面もあった。
- 今週は日米で金融政策を決める会合が開催される。市場では、FRBの0.25%利下げをほぼ織り込む一方で、日銀が利上げを見送るとの見方が強まっている。予想に反して日銀が追加利上げを決めれば、円高ドル安方向に振れる可能性があり、注意を要しよう。



※Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成

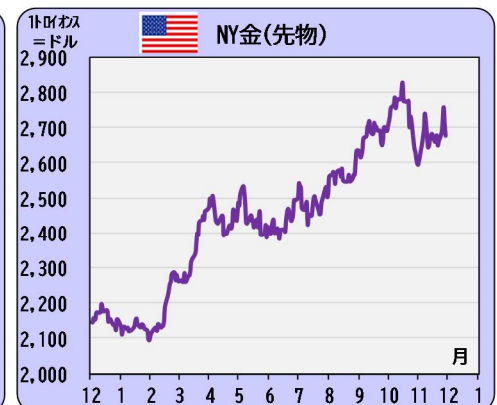
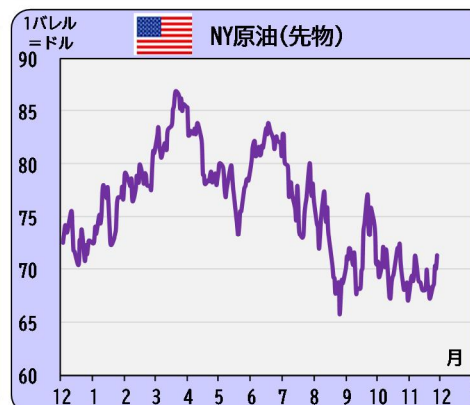
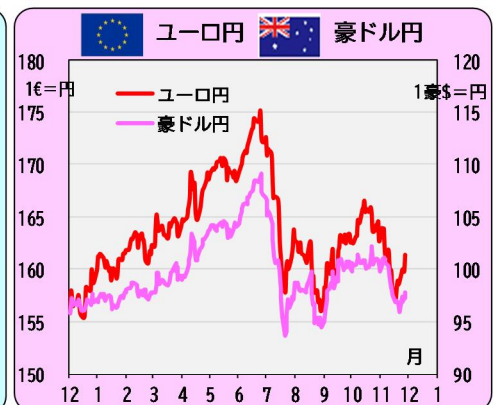
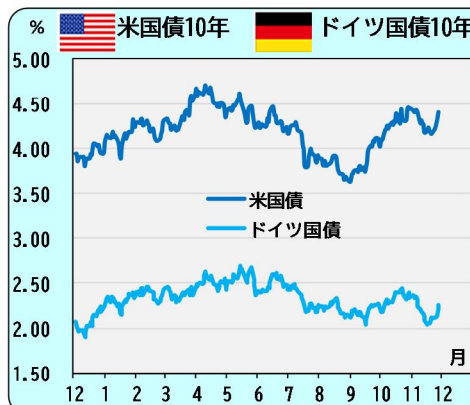
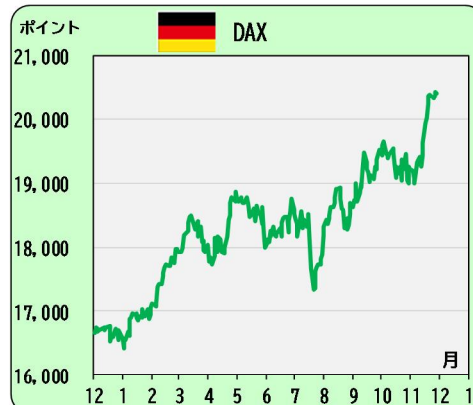
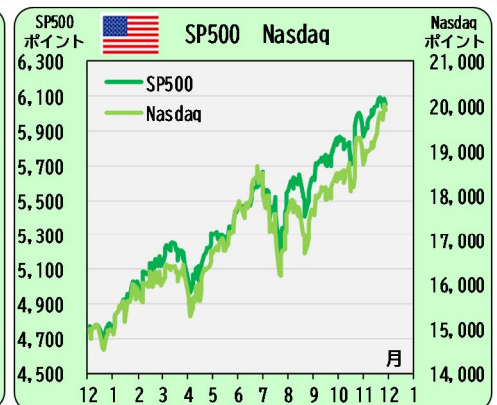
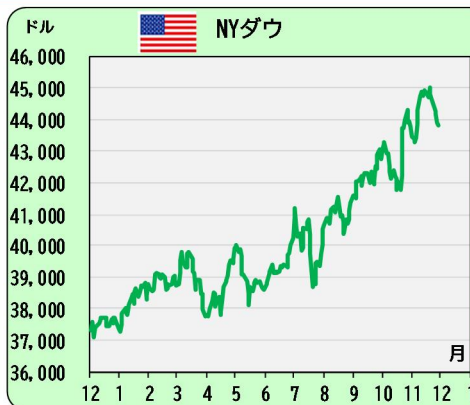
○今週の注目指標 ※内容および日程が変更される場合があります。

月 日	国 内	海 外
12/16(月)	機械受注統計(10月) 第3次産業活動指数(10月)	
12/17(火)	国債入札(20年)	米国: FOMC(~18日) 米国: 小売売上高(11月)
12/18(水)	日銀金融政策決定会合(~19日) 貿易収支(11月)	米国: 経常収支(7~9月) 米国: 住宅着工件数(11月)
12/19(木)	植田日銀総裁会見	米国: GDP(7~9月)確定値 米国: フィラデルフィア連銀景気指数(12月)
12/20(金)	CPI(全国11月)	米国: 個人所得・個人消費支出(11月)



③その他チャート集

直近1年間



※Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成

※頻出英字略称用語一覧

略称	正式名称	略称	正式名称	略称	正式名称
CTFC	米商品先物取引委員会	FTA	自由貿易協定	PCE	個人消費支出
CPI	消費者物価指数	GDP	国内総生産	PER	株価収益率
ECB	欧州中央銀行	IMF	国際通貨基金	PMI	購買担当者景気指数
ETF	上場投資信託	IEA	国際エネルギー機関	PPI	卸売物価指数(生産者物価指数)
EU	欧州連合	ISM	米供給管理協会	SQ	特別清算指数
FDI	海外直接投資	OECD	経済協力開発機構	TPP	環太平洋経済連携協定
FF	フェデラルファンド	OPEC	石油輸出国機構	WSTS	世界半導体市場統計
FOMC	米公開市場委員会	OPEC+	OPEC加盟国と非加盟国の枠組み	WTI	ウエストテキサスインターミディエート(原油)
FRB	米連邦準備理事会	PBR	株価純資産倍率	YCC	イールドカーブコントロール

●ご留意事項

- ・本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、発行日午前9時までの情報にもとづく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源にもとづいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。最終的な投資判断はお客様ご自身でなさるようお願いいたします。
- ・本レポートに関するお問い合わせは浜銀総合研究所・調査部までお願いいたします。